

第7回一関市総合計画審議会 会議録

1 会議名 平成26年度第7回一関市総合計画審議会

2 開催日時 平成26年11月27日(木) 午前10時30分から午後0時30分まで

3 開催場所 なのはなプラザ3階 一関公民館 大会議室

4 出席者

(1) 一関市総合計画審議会委員 16人

阿部新一委員、及川忠委員、小山亜希子委員、小岩邦弘委員、坂本紀夫委員、佐藤芳郎委員、菅原行奈委員、菅原勇委員、菅原五三男委員、千葉和行委員、千田博委員、千葉真美子委員、永山克男委員、畠中良之委員(会長)、原田哲委員、水谷みさえ委員

(欠席委員 11人)

及川修三委員、小山麗子委員、木村静恵委員、金野久美委員、千葉博委員、槻山チエ委員、徳谷喜久子委員(副会長)、永澤由利委員、沼倉恵子委員、松岡千賀子委員、三浦幹夫委員

(2) 市出席者 4人

千葉敏紀企画調整課長、佐藤正幸企画調整課長補佐、松谷俊克主任主事、菊地絵理子主任主事

5 会長挨拶

基本構想の素案の文言や表現について、より良いものにするために、12月の答申の前に本日審議会を開催させていただいた。答申を見据えて、具体的な文言とすることを念頭におきながらのご審議をお願いしたい。

6 議題

(1) 次期総合計画の策定について

ア 総合計画基本構想の素案について

- ・ ご意見とその対応【資料No.31】
- ・ 基本構想素案【資料No.32】
- ・ 基本構想素案比較表【資料No.33】
- ・ 構想の推進比較表【資料No.34】

イ はじめに【資料No.35】

(2) その他

7 審議

(1) 次期総合計画の策定について

ア 資料No.31～34 について、事務局から資料の説明を行い、質疑・意見交換を求めた。

【質疑・意見等】

① 審議会委員意見

序章について、「川崎及び藤沢」とあるが、「川崎、藤沢」と同じ表現にしてほしい。

・ 会長

「川崎、藤沢」と同じ表現にする。

② 審議会委員意見

序章について、「特有の文化」とあるが、「独自」又は「固有の文化」としてはどうか。

③ 審議会委員意見

独自、固有の文化とすると、他地域には全くないというイメージになる。その位の個性ある地域という訳ではないので、独自、固有という表現ではないのではないか。

・ 会長

表現については事務局で検討する。

④ 審議会委員意見

序章について、合併前のまちづくりと新市誕生、今までのまちづくりと文章が時系列でなく、戻るような印象を受ける。

⑤ 審議会委員意見

序章について、「人口減少社会へ進む中で、」とあるが、自らが意思を持って進むわけではないので、そのような状況とならざるをえないというような表現としてほしい。

「大きな影響を及ぼすことが懸念される」とあるが、何に影響を及ぼすのか主語がないので文章を見直してほしい。

・ 会長

表現については事務局で検討する。

⑥ 審議会委員意見

序章について、「そのためには、市民、地域、行政がまちづくりの主体として」の段落について、今なぜ、計画策定をしていかななくてはならないかの理由をもっと強い表現で入れた方がいい。

・ 会長

表現については事務局で検討する。

⑦ 審議会委員意見

将来像について、「いのち輝く」を説明する文言で、「市民が地域の中で、共に認めあい、支え、助け合って、自己実現を目指すことにより、生涯にわたり、」とした方が文章がつながるのではないかと。

- ・ 会長
修正する方向で検討する。
- ⑧ 審議会委員意見
将来像について、「次世代が誇れる」又は「次世代に誇れる」のどちらがいいか。
- ⑨ 審議会委員意見
「次世代が」を削除してはどうか。
- ⑩ 審議会委員意見
次世代へまちを引き継ぐための計画なので、次世代の文言は削除しないほうが
いい。
- ⑪ 審議会委員意見
私達が、10年間で次世代が誇ることができるまちをつくるという意味をもって、
「次世代が」とした方がいいと思う。
- ・ 会長
原案のとおり、「次世代が」とする。
- ⑫ 審議会委員意見
将来像に関する地域資源の説明について、一部会長案のとおり、「地域資源だけ
ではなく、市民一人ひとりや市民のネットワークについても郷土の宝として育み、
まちづくりに活用していくことで、新たな魅力が生まれ、次世代が誇れるまち」
とした方が分かりやすい。
- ⑬ 審議会委員意見
まちづくりの考え方について、郷土の宝物については、会長案のとおりとし、
「これらの地域資源を十分に活用するほか、まだ気づかれていない資源を」とし
た方がいい。
- ⑭ 審議会委員意見
「将来像を実現するために」を考え方の本文に入れるという会長案については、
すでに表題に将来像を実現するためのまちづくりの考え方とあるので、不要では
ないか。
- ・ 会長
原案のとおりとし、「将来像を実現するために」の文言は追加しないこととする。
- ⑮ 審議会委員意見
まちづくりの考え方について、安全、安心についての文言が薄いと思うので、
自然環境と社会環境での安全、安心について追加して記載した方がいい。
- ・ 会長
事務局で検討する。
- ⑯ 審議会委員意見
まちづくりの考え方について、安全、安心の文末が「安心して暮らすことがで
きます。」とあるが、他の考え方と合わせて、どのようにしていくか能動的な文
言とした方がいい。

- ・ 会長
事務局で検討する。

⑰ 審議会委員意見

まちづくりの目標について、子育てを応援するまちの部分の記載順を「家庭、地域、学校、行政」とした方がいい。

- ・ 会長
意見のとおり修正する。

⑱ 審議会委員意見

まちづくりの目標について、「家庭、地域、学校、行政」のほかに、「企業」を追加した方がいい。

⑲ 審議会委員意見

企業のほかに、NPO法人等の団体もあるので、追加した方がいい。

- ・ 会長
事務局で検討する。

⑳ 審議会委員意見

構想の推進について、協働についての取組が、市民主体の地域づくりと市民と行政の協働によるまちづくりとの2つに分かれているが、これ1つにして、まちづくりの考え方に合わせる書き方とした方がいいのではないかと。

- ・ 会長
協働の取組は1つとして、事務局で文言を合わせて案を作成する。

イ 資料No.35について、事務局から資料の説明を行い、質疑・意見交換を求めた。

【質疑・意見等】

なし

(2) その他

なし

午後0時30分 閉会

8 公開、非公開の別 公開

9 傍聴者の数 1人（報道機関）

10 担当課 企画振興部企画調整課